



平成31年1月25日

株式会社キャビック

来るキャッシュレス時代に対応！

## 「タクシーの支払いも完全キャッシュレス」

全車両に決済機能付きタブレット搭載でスムーズな支払が可能になりました！



京都府でタクシー事業を展開する株式会社キャビック(本社：京都市右京区、代表取締役：兼元 秀和、以下「キャビック」)は、タクシー車両後部座席に決済機能付きタブレットを2019年1月末に全台搭載、新しい決済サービスの提供を開始いたしました。

## ■新サービス提供開始背景

タクシー業界では、ライドシェア問題など抱える一方バリアフリーを意識したユニバーサルデザイン車の導入や多言語対応など、より多くのお客様を効率的かつ安全に目的地までご案内するため様々な工夫を行っております。

昨今、お客様の利便性向上や訪日外国人などへの対応を狙いとしてキャッシュレス化が進んでおります。特に2020年の東京オリンピックに向け国（経済産業省）が総力を挙げて取り組んでいるキャッシュレス・ビジョン。2027年までにはキャッシュレス決済の割合を全体の決済のうち40%を目指しているともいわれています。

観光都市である京都は、年間観光客数が5000万人台を維持しておりまた、外国人宿泊客数では、前年の過去最高記録318万人を大きく上回り、352万人で記録更新となりました。中国人の約8割が現金支払ではなくスマホなどのキャッシュレスで支払いをしている実態がございます。

このような環境のもと、キャビックもスマホ対応、そしてキャッシュレス化にも積極的に取り組んでおり、平成29年12月1日からは「ジャパントクシー配車アプリ（旧：全国タクシー配車アプリ）」に加盟し、アプリを活用し電話などの煩雑な手段を用いらずタクシーを呼ぶ事が可能となりました。

今回のタブレット搭載を機に、**従来の現金、クレジットカードでの決済から電子マネーやスマホ決済に幅広く対応**し、お客様の利便向上に努めます。

## ■新サービスの特徴

タクシー業界初となる『決済機付きタブレット』を全車に搭載。**決済方法は様々でQRコードやカード決済だけでなく、日頃より使い慣れた交通系IC（ICOCAやSuica含む）などお客様のニーズに応じた決済方法をご選択していただく事が可能となりました。**お客様ご自身で好きなお支払い方法を選択し決済する、業界初のスタイルとなります。これにより、乗



車されるお客様は決済方法に縛られることなく乗車でき、自身で支払い手続きを行うことで安心して決済を行なっていただくことができます。また、目的地に到着する前にQRコードで決済すれば運賃が自動決済され、降車時に乗務員と支払いのやり取りをする必要がありません。

## ■ タクシー車両後部座席設置の広告タブレット概要

- ・名称：決済機付きタブレット
- ・機能：タクシー料金の決済、広告コンテンツの放映
- ・対応言語：日本語、英語、韓国語、中国語（簡体字・繁体字）
- ・対応決済：クレジットカード、交通系 IC、電子マネー、決済アプリ、QR コード



## ■ 会社概要

- 商号 : 株式会社キャビック  
代表者 : 代表取締役 兼元 秀和  
所在地 : 〒615-0907 京都市右京区梅津段町 8 番地  
設立 : 1962 年 1 月  
事業内容 : 一般乗用旅客自動車運送事業・福祉介護事業など  
資本金 : 2,000 万円  
URL : <http://www.cabik.co.jp/>  
基本理念 : キャビックの強みである「移動」・「介護」・「環境」を有機的に提供し、地域社会で必要とされる企業を目指します。

## ■ 本件に関するお問い合わせ先

- 企業名：株式会社キャビック  
担当者名：新 直記（しん なおき）  
TEL：075-861-1188（9：00～18：00）  
Email：n-shin@cabik.co.jp

以上